

(熊谷市) 記者クラブ取材情報

事業の名称等

熊谷産大豆100%使用 文殊寺御祈禱済「大福豆」の販売について

1. 販売開始日 平成22年 2月 1日 (月) ・午後 9時30分から
 2. 販売場所・期間 「JAふれあいセンター江南店」で限定販売 ・ 通年の販売
 3. 主催者・関係者
 - (1) 団体名等 こうなん農産加工倶楽部 (レストランなご味) 熊谷市樋春152
 - (2) 代表者名 茂木艶子 (もてぎ つやこ) TEL 048-536-8799
 4. 事業内容 市が支援している「こうなん農産加工倶楽部」では、生産量県内第1位を誇る熊谷産大豆を使い、同じく江南地区にあり、知恵を司る仏様として有名な文殊寺の協力により、学徳成就・心願成就の祈禱を済ませた大豆を加工し、文殊寺御祈禱済「大福豆」として商品化しました。
 5. 目的・理由 「こうなん農産加工倶楽部」は、地元農産物の加工に取り組み、農産物の付加価値化、販売の拡大、雇用機会の創出などにより、農業の振興及び地域経済の活性化に寄与することを目的として、平成17年11月に設立されました。

今回の商品化は、正に地元産の大豆を加工し、文殊寺に協力をさせていただき付加価値を高め、売上げの増加を図る等目的に沿ったものとなりました。
 6. 経緯・経過 こうなん農産加工倶楽部と埼玉県大里農林振興センターで連携し、新商品の開発に取り組んできました。商品化の準備が整ったことから、1月20日に文殊寺本堂において、原材料の大豆を祈禱していただき、2月から販売する運びとなりました。
 7. 影響・効果 県内でも有数の高品質の熊谷産大豆と、貴重な観光資源である文殊寺が連携することにより、販路拡大、参拝客の増加及び知名度アップなどに効果が期待されます。
 8. この事業の実施による特記事項

一袋 80グラム入り、販売価格 300円 (熊谷産大豆「タチナガハ」を100%使用)

特別販売

 文殊寺大縁日 (2月25日) 本堂前特設テント
 - (1) 県内の状況

ア.

 県内で初めて イ. 県内で 番目 実施市別紙のとおり
 - (2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色
 - ・ 他市と同じ
- ※ 資料の有無 (☒ 有 ・ 無)

担当課 江南行政センター産業建設課 担当者 舟橋勝利
連絡先 TEL 048-536-1521 (代)